

科目名	自然素材と造形				担当	吉澤 俊		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年後期	実務経験	小中高特教論 経験有	
必修	—				ナンバリング	Y3705	DPとの関連	3・4
授業概要	自然にある様々な素材を、自分の手を使い格闘しながら「作品」に変えていく。そうした「ものづくり」の楽しさを存分に味わうことが子どもの表現への「共感力」を高める・・・そんな経験を持てる時間をつくろう。							
到達目標 学習成果	1. 素材と格闘としながら、粘り強く最後まで製作できる 2. 素材を生かしながら、目的に合ったデザインができる 3. 自然素材の持つ良さを体験的に学ぶことができる							
授業計画	回	内容						
	1	授業ガイダンス	自然素材の保育現場での活用例を知る ・レッジョ・エミリア					
	2	研究・制作1	木材という自然素材を知る・設計図づくり					
	3	研究・制作2	製作 あらどり					
	4	研究・制作3	製作					
	5	研究・制作4	製作					
	6	研究・制作5	製作 ペーパー くるみによる仕上げ 見返し					
	7	研究・制作6	粘土という自然素材を知る・ひもづくり 削り					
	8	研究・制作7	板づくり 削り 見返し					
	9	研究・制作8	クリスマスリース作り(自然素材の活用)					
	10	研究・制作9	製作					
	11	研究・制作10	自然素材の応用(テーマ製作)					
	12	研究・制作11	製作					
	13	研究・制作12	製作 見返し					
	14	研究・制作13	陶芸 焼成について 施釉 本焼き 展示準備					
	15	振り返り	展示 相互評価 まとめ					
評価基準	1. 研究・制作テーマを決め、主体的・継続的に研究・制作することを通してテーマに対しての学びを深めることができたか 2. 作品等の研究成果を自主企画展覧会で発表することができたか							
評価方法	授業態度 10% 研究・作品制作の内容 70% 発表技術 20%							
フィードバック 方法	作品は、評価後に返却する ・作品講評							
アクティブ ラーニング	製作、相互評価							
材料費	各自の制作内容に応じて材料費がかかる場合がある。詳細については研究・制作テーマ決めの際に相談する。							
教科書	特になし							
参考書	研究テーマに沿う形で、必要に応じて提示する							
履修条件	木材・陶芸の全作品制作に 1000 円程度の費用がかかる。火や刃物を使う作業で、汚れや危険が伴うため、集中して取り組めることが必要である。							
授業外学習	ろくろによる陶芸を経験したい場合は、「美術表現」を受講すること							
オフィスアワー	学生支援課の掲示板に掲示する							